

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

兵庫県地方独立行政法人明石市立市民病院 市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	24	対象	透I 訓	救 臨 地 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	23,132	非該当	7 : 1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン（放射線）診療

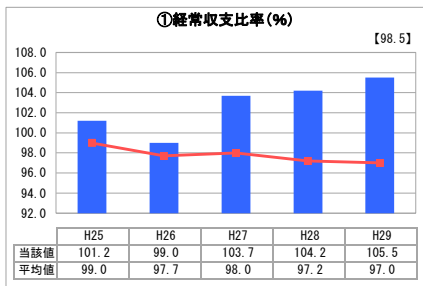
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
357	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	357
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
301	-	301

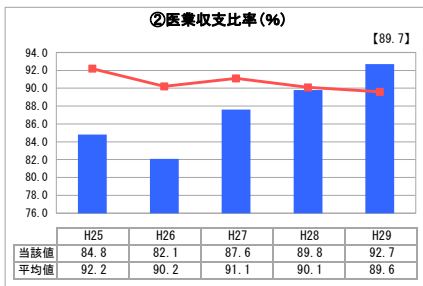
**グラフ凡例**

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

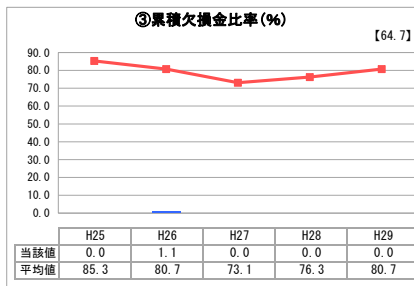
## 1. 経営の健全性・効率性



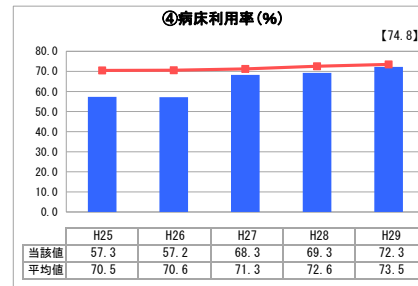
「経常損益」



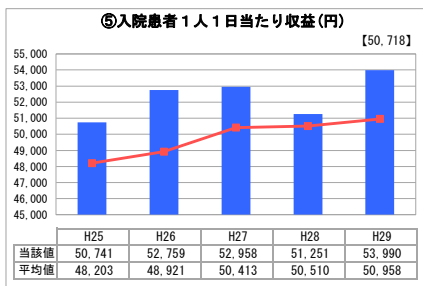
「医業損益」



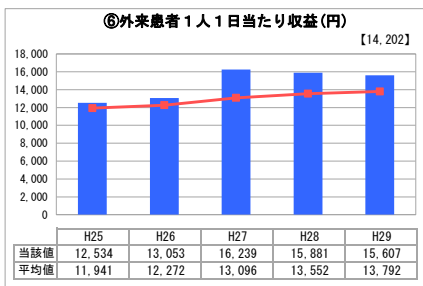
「累積欠損」



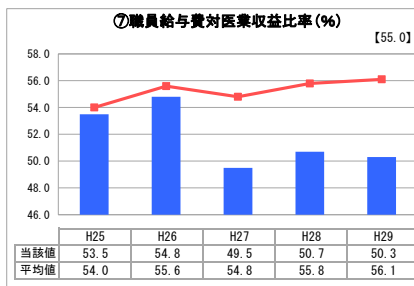
「施設の効率性」



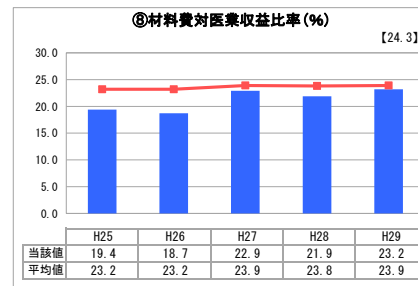
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

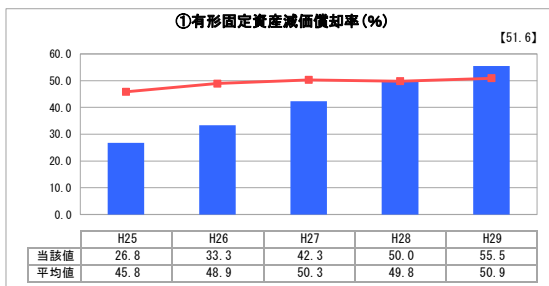


「費用の効率性①」

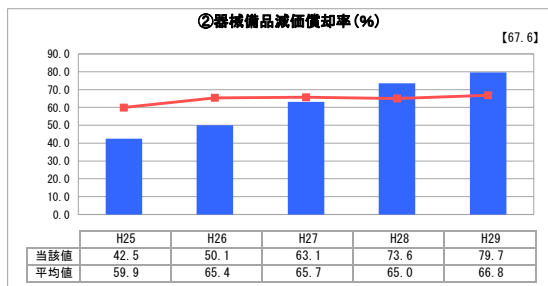


「費用の効率性②」

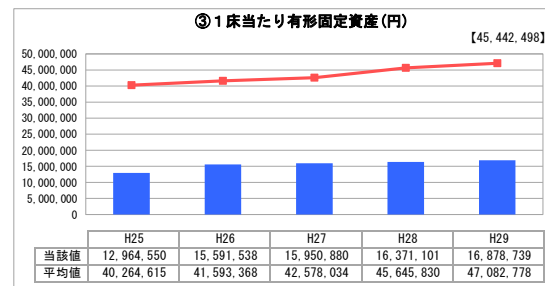
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

## I 地域において担っている役割

地域の中核病院として、地域の医療機関及び市と連携しながら、地域住民に高度な総合的医療と救急医療や小児救急などの政策医療を安定的かつ継続的に提供するとともに、医療の質のさらなる向上に努めている。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

地方独立行政法人化したことにより、地域包括ケア病棟開設などの取組に係る意思決定をスピーディーに行えるようになった。その他、救急患者受け入れのさらなる推進等による集患、手術件数の増、在院日数の適正化による診療単価の向上によって収益増加を図る一方で、費用削減にも取り組む、経営の健全性の維持・向上に努めている。また、採用面においても法人独自の採用が可能となったことによって人事に流動性が生まれ、新たな技術や知識を持った医師の採用や、現場の声を活かした看護師採用活動を実施している。事務職員においても他病院経験者の採用が可能となり、他病院での経験を活かしての業務改善提案や費用圧縮に取り組んでいる。

### 2. 老朽化の状況について

平成23年10月の地方独立行政法人化以降、過剰な設備投資を抑制していた時期もあり、医療機器などの更新がやや遅れている側面がある。建物も最も古い部分では平成元年の使用開始から約30年が経過するなど、法定耐用年数に近づいており、資産の老朽化が進んでいる状況である。近年、財務体質が改善されつつあるため、必要性や採算性を検討のもと、計画的な設備投資計画を策定する必要がある。

### 全体総括

平成23年10月の地方独立行政法人化以降、診療体制の強化および事務部門の構造改革に取り組み、安定した経営基盤の確立に積極的に取り組んでいる。地方独立行政法人である当院にとって「新公立病院改革プラン」にあたる「第2期中期計画」に基づき、「救急医療の強化」「地域から求められる新たな診療体制の確立」「地域医療介護連携体制の強化」そして「病院管理体制の改革」を重点目標として位置づけ、増患による増収並びにコスト削減を図っている。その他、TQM (Total Quality Management) 活動にも取り組み、質改善の活動も行っている。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。